

事業名	家畜衛生技術指導事業費	財務コード (事業)	056604
-----	-------------	---------------	--------

細事業名	家畜保健衛生業績発表会開催費
------	----------------

担当部課室	農政 部 畜産 課 安全・衛生 担当 (内線)	5264
-------	-------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 S34 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県 (直営)						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <th>誰(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>畜産関係者</td> <td>正しい情報・知識を得ている</td> <td>安全・安心な畜産物の生産及び生産性の向上</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	畜産関係者	正しい情報・知識を得ている	安全・安心な畜産物の生産及び生産性の向上
誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
畜産関係者	正しい情報・知識を得ている	安全・安心な畜産物の生産及び生産性の向上					
事業の内容 主に 24年度	<p>家畜保健衛生業務の改善向上を図るため、家畜保健衛生所の日常業務に関連した事業、調査等の業績について発表、討議を行う。</p> <p>全国家畜保健衛生業績発表会への参加 平成25年4月19日,20日 (東京都千代田区) 全国の畜産の現状に即した家畜保健衛生業務の効果的推進事例(畜産環境等)や初動防疫体制の強化(他県事例の紹介)等、情報提供を受ける。 山梨県家畜保健衛生業績発表会の開催 平成24年12月19日 (北巨摩合同庁舎) 畜産関係者に対し、県内の畜産環境対策等家畜衛生の優良事例及び疾病状況とその対応事例等の紹介を実施。 関東甲信越家畜保健衛生業績発表会への参加 平成25年2月14日 (群馬県前橋市) 本県及び隣接都県における畜産の現状に即した家畜保健衛生業務の効果的推進事例(畜産環境等)や家畜疾病に対する効果的対応事例等の情報提供を受ける。</p>						
根拠法令等	全国家畜保健衛生業績発表会開催要領、関東甲信越ブロック家畜保健衛生業績発表会会則						

事業の目標、実施状況等 (事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	県発表会発表演 題数	12題	13題	13題	12題	13題	活動指標 目標設定の考え方 例年の発表演題数 データの出典等 山梨県家畜保健衛生業績発表会抄録
	県選出関東ブ ロック発表演題数	3題	3題	3題	3題	3題	
	県選出全国発表 演題数	1題	1題	1題	1題	1題	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		100.0 %				
成果指標	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	決算額、予算額 (千円)	474	235	235	234	234	成果指標によらない成果 家畜の疾病発生及び、気温上昇などの環境変化による家畜の死亡率上昇が認められた際、診療獣医師及び畜産農家等から、早期通報が行なわれている。業績発表会を通じて、身近に生じている家畜疾病・伝染病の発生状況及びその対応状況の情報を共有することで、畜産関係者の意識向上につながっている。
うち一財額	355	235	235	234	234		
所要時間 (直接分)	600 時間	480 時間	480 時間	480 時間	480 時間		
所要時間 (間接分)	0 時間	0 時間	0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	600 時間	480 時間	480 時間	480 時間	480 時間		
人件費1人単位:千円 (@2,050円 × 所要時間)	1,230	984	984	984	984		

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断 (平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方
H24年度活動指標達成率		数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方
H24年度成果指標達成率		必ず記入すること
	b	家畜の疾病発生及び、気温上昇などの環境変化による熱射病など家畜の死亡率上昇が認められた際、診療獣医師及び畜産農家等から、早期通報が行なわれている。また、身近に生じている家畜疾病・伝染病の発生状況及びその対応状況等、最新の家畜保健衛生所の業務内容について業績発表会で発表等を行い情報共有するとともに、参加者である畜産関係者が情報の収集や質疑応答を交わすことで、各々の技術・意識向上につながっており、意図した成果をほぼ上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性 (平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価 (担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	審査委員の昼食については、23年度以前は全委員へ提供していたが、24年度から外部審査員のみ に改めた。 近年、家畜疾病や伝染病に対する情報提供を重点的に行ってきたが、日常業務の中で新たに行っ た手法や発想を変えて成果をあげた業務等を、新たな技術及び成果として畜産関係者へ発表し、畜 産農家がこれらの成果を蓄積し情報共有等することで、更なる効率化を図り、競争力の高い農畜産物 生産につなげていく。	l・m

・「以外の判断項目」の欄
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
 (g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価 (担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
/	/	/

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向 (平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	指導機関の専門的な視点から、家畜保健衛生所で行っている最新の業務内容など(診断検査や家畜疾病の予防対 策)を畜産農家に情報提供し、農家の業務効率を改善する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。